

# 研修バス旅行

総務企画部会

## ◆八戸ブックセンター視察

総務企画部会では、花北コミュニティ協議会の毎年度の「研修バス旅行」を企画し、県内外に出かけて参加者との交流、文化財や食品工場視察等を積み重ねてきています。特に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災大津波の被災以降は、多くの皆さんからの支援の輪が広がる中、当企画部会では現地の復旧・復興の実情を確認しながら被災地支援を込めた研修実施に取り組んできました(下表の視察研修地一覧参照)。

令和元年度の事業として、昨年11月2日に青森県八戸市を訪問し、八戸市が運営する「八戸ブックセンター」を視察研修しました。市民に本の普及を目指す取り組みと実用書など市内の書店と販売書籍



館長の分かりやすい説明を聞く

年月日	曜	視察研修場所等	人数	会費(円)
令和01.11.02	土	八戸ブックセンター、蕪島、櫛引神社視察	72	3,000
平成30.10.26	金	平泉世界遺産(中尊寺、毛越寺、讚衡蔵)視察	41	3,000
平成29.10.28	土	大船渡・陸前高田被災地復興視察研修	66	3,000
平成28.11.12	土	大槌・釜石被災地復興視察研修	80	3,000
平成27.10.24	土	男鹿水族館、なまはげ館、男鹿真山伝承館	41	2,500
平成26.10.25	土	葛巻町風力発電所、ワイン工場	44	2,000
平成25.10.26	土	奇跡の一本松、大船渡津波伝承館の旅	89	2,000
平成24.10.27	土	小岩井農場、松川溪谷、松川地熱発電所	71	2,000
平成23.11.04	金	平泉、一関北上川学習交流館他		
平成22.11.04	木	正法寺(水沢)、一関市東山交流センター 他		
平成21.11.07	土	塩竈市場、塩竈神社、ビール工場見学		

の競合を避けた文化的な書籍の展示販売を見学することができました。公営の書店は珍しく、本に関わるイベント開催のほか飲料やビール等の販売も行われ、来館者数は一日300人、販売書籍は30冊余りとのこと、市民に愛されている本屋さんと感じたところです。天然記念物のウミネコ生息地で知られる「蕪島(大正11年3月に

国の天然記念物に指定)を訪れましたが、蕪島神社は平成27年11月に焼失し神社再建工事中で進入禁止。ウミネコは3月ころから飛来し、5月に産卵、8月には蕪島を去るとのことでしたが、神社は今年3月26日の例大祭から一般公開されるようです。次に見学した南部総鎮守一宮と言われる「櫛引八幡宮」では、樹齢100年以上の老杉や重要文化財に指定されている本殿など5棟の社殿、国宝の甲冑(かっちゅう)・鎧と兜からなる武具)などを見学し、先人たちの建築技術、彫刻、極彩色の文様など目のあたりにし、参加者の中には建築模様を写真で記録に残す姿もみられ、学びの視察研修が感じられたところです。



再建工事中の蕪島神社(視察当時)

**◆編集後記**  
 今年の冬景色にビックリしています。2月でも積雪ゼロの状態です。異常な暖冬であります。一方で、中国の武漢で発生したコロナウイルスによる風邪の症状は世界に蔓延しています。手洗い、うがい等で感染防止に努めましょう。  
 今回のこぶし27号も皆さんからのご協力で発行できました。ご協力に深く感謝申し上げます。  
 編集長 木戸口久雄

公開されるようです。次に見学した南部総鎮守一宮と言われる「櫛引八幡宮」では、樹齢100年以上の老杉や重要文化財に指定されている本殿など5棟の社殿、国宝の甲冑(かっちゅう)・鎧と兜からなる武具)などを見学し、先人たちの建築技術、彫刻、極彩色の文様など目のあたりにし、参加者の中には建築模様を写真で記録に残す姿もみられ、学びの視察研修が感じられたところです。



櫛引八幡宮の本殿